

県営熊野住宅 42 号館ほか 6 棟建替その他工事に伴う実施設計委託の
公募型建築プロポーザルに係る審議の結果について

1 特定結果

次のとおり、特定者及び次点者を特定しました。

特定者	株式会社 感性舎（広島市中区十日市町二丁目 7 番 18 号）
次点者	株式会社 あい設計（広島市東区上大須賀町 10 番 16 号）

2 講評

このプロポーザルは、現在、安芸郡熊野町にある既存の県営熊野住宅42号館ほか6棟の建替えを行うための設計者を選定するために実施されたものです。

“「ファミリー世帯のニーズを捉えた居住環境の創出」について”，“「地域のまちなみに調和した景観形成」について” 及び “「実現性の高い建設コストの縮減策」について” の3つの評価テーマを設定し、各者からの提案を求めました。

特定者の提案は、まちなみバルコニー、アルコーブの計画による集合住宅のファサードが魅力的で住宅全体のイメージと呼応している点が評価されました。加えて、景観についても遠景・中景・近景と良く検討されており、周辺環境へ配慮された提案であることが評価されました。また、住戸の間取りやセミプライベートゾーン、コモンスペースを有機的に計画することにより、そこに生まれる「つながり」を家族から子供、団地全体へうまく拡張させており、コミュニティをしっかりと捉えている点が他者との優位性として特に評価されました。

次点者の提案は、与条件を満たすようきっちりと計画されている点や実現性が非常に高い点、加えて木造の集会所やチャイルドケア住宅等がよく検討されている点、加えて使い勝手が良い点等が評価されました。

上記2者の提案の他、風の通り抜けを踏まえた計画や屋上デッキ等の計画による交流の場の創出等、評価する意見が出されました。

全体的に、各者ともそれぞれの理想や思いを反映した意欲的な提案となっていました。

3 審議経過等

(1) 審議内容

ア 評価基準、評価要領の策定

“「ファミリー世帯のニーズを捉えた居住環境の創出」について”，“「地域のまちなみに調和した景観形成」について” 及び “「実現性の高い建設コストの縮減策」について” の3つの評価テーマを含め、評価基準及び評価要領等を策定

イ 技術提案書の提出者の選定（一次審査）

参加表明書の提出者（9者）について、資格要件を満たす者の中から、技術提案書の提出者を選定するための基準による評価を行い、技術提案書の提出者（5者）を選定

ウ 技術提案書の特定（二次審査）

提出された技術提案書（5者 ※辞退した1者を含む）について、公開ヒアリングを実施した上で、技術提案書を特定するための基準による評価を行い、特定者及び次点者各1者を特定

[審議経過]

平成28年7月8日	審査部会（第1回）	評価基準、評価要領の策定
平成28年7月15日	公募型建築プロポーザル公示	
平成28年8月1日	参加表明書の提出期限	9者提出
平成28年8月10日	審査部会（第2回）	技術提案書の提出者の選定（5者）
平成28年8月12日	技術提案書の提出要請	
平成28年8月29日	技術提案書の提出期限	5者提出（※うち1者辞退）
平成28年9月9日	審査部会（第3回）	公開ヒアリング、技術提案書の特定

(2) 審査部会構成

[審査部会委員（順不同・敬称略）]

委員区分	氏名	役職等	専門分野
部会長	河内 浩志	広島工業大学副学長／教授	建築計画
委員	龜谷 清	公益社団法人 日本建築家協会中国支部支部長	建築設計
委員	元廣 清志	公益社団法人 広島県建築士会会長	建築デザイン
委員	高橋 淳	国土交通省 中国地方整備局営繕部整備課長	営繕行政
委員	沖田 浩	熊野町建設部長	まちづくり
委員	宮地 正人	広島県土木建築局建築技術部長	建築行政
委員	宮崎 昌二	広島県土木建築局住宅課長	施設主管課